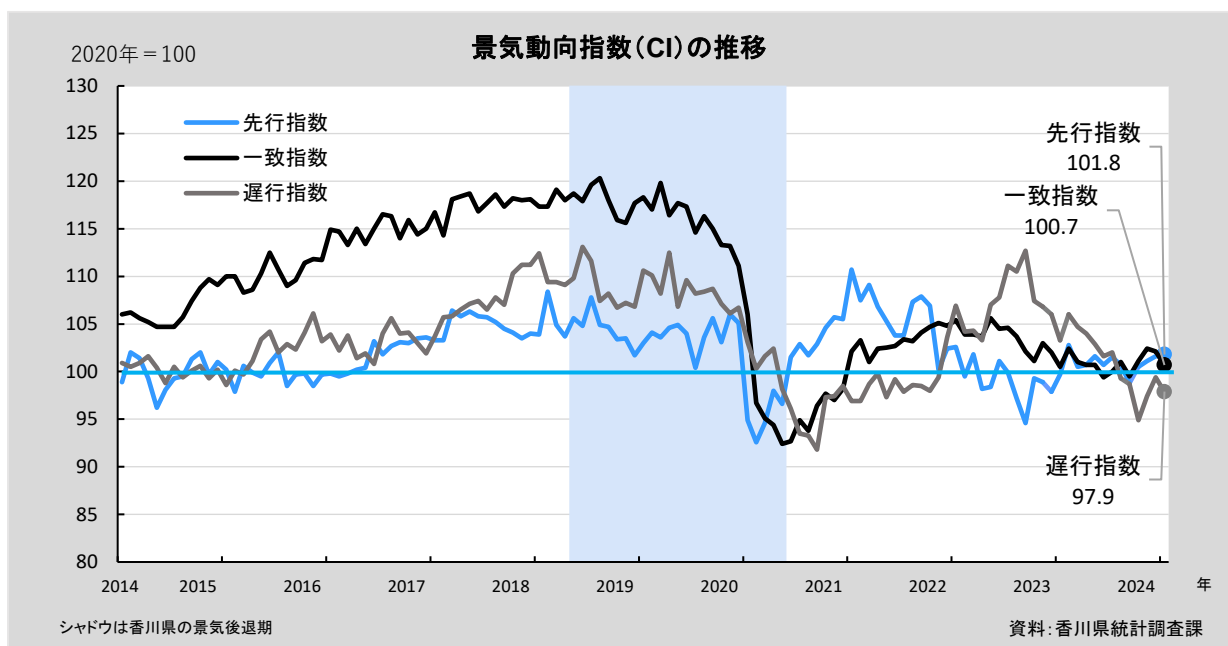


概況	景気は、持ち直しの動きが一服している。
個人消費	持ち直しの動きが一服している。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	持ち直しの動きがみられる。
生産活動	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	緩やかに持ち直している、
貿易	輸出、輸入ともに増加している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数(かがわCI) 一致指数 2カ月連続下降



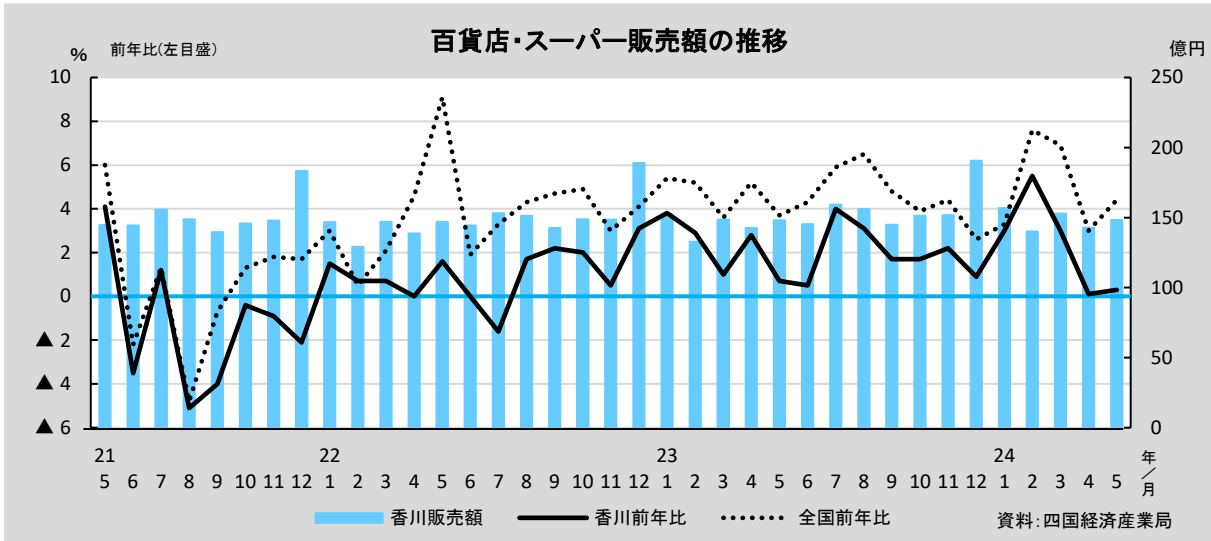
景気の現状をみると、4月のCI一致指数は100.7（前月比▲1.4ポイント）と2カ月連続で下降。CI先行指数は101.8（同+0.2ポイント）と4カ月連続で上昇。CI遅行指数は97.9（同▲1.5ポイント）と3カ月ぶりに下降。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、建築着工床面積、雇用保険受給者実人員等が下降に寄与し、前月から1.4ポイント下降となった。

	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	1.22	1 雇用保険受給者実人員	▲ 0.85	1 常用雇用指数	0.93
	2 乗用車新車登録台数	1.10	2 有効求人倍率	0.51	2 有効求職者数	▲ 0.18
	3 鉱工業在庫率指数	1.30	3 所定外労働時間指数	0.47	3 消費者物価指数	0.48
	4 生産財生産指数	0.20	4 鉱工業生産指数	▲ 0.49	4 家計消費支出	▲ 0.85
	5 新設住宅着工戸数	▲ 1.44	5 鉱工業出荷指数	0.67	5 鉱工業在庫指数	▲ 1.13
	6 金融機関貸出残高	▲ 1.06	6 建築着工床面積	▲ 1.13	6 法人事業税調定額	▲ 0.06
	7 消費者態度指数	▲ 0.92	7 百貨店・スーパー既存店販売額	▲ 0.53	7 第3次産業活動指数	▲ 0.41

●百貨店・スーパー販売額

22 カ月連続増加 ↑

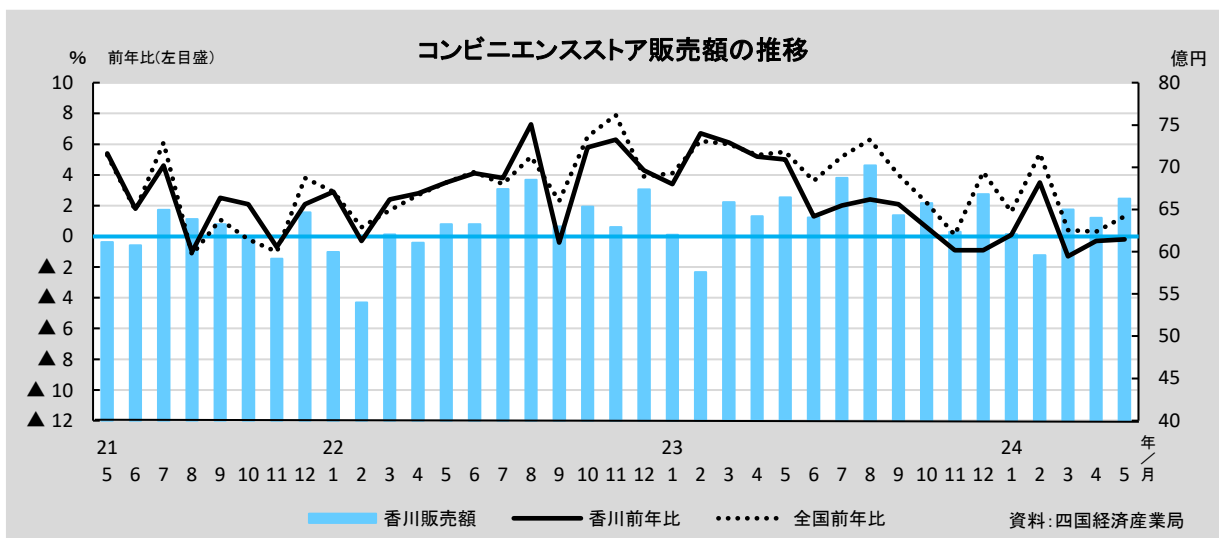


2024/5月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	104,052	70,008	1,091,835	1,911	4,086	68,765	142,415	496	1,483,568
前年同月比(%)	▲ 9.0	▲ 4.8	▲ 1.0	▲ 17.5	▲ 11.7	▲ 4.7	▲ 1.5	▲ 7.5	▲ 0.3

5月の百貨店・スーパー全店(83店)の販売額は148.4億円で、前年同月比+0.3%と22カ月連続で増加した。「飲食料品」は同+1.0%、「身の回り品」は同+4.8%と好調だった。「衣料品」は前年より気温が低い日が多かったため夏物衣料の動きが鈍く同▲9.0%となった。

●コンビニエンスストア販売額

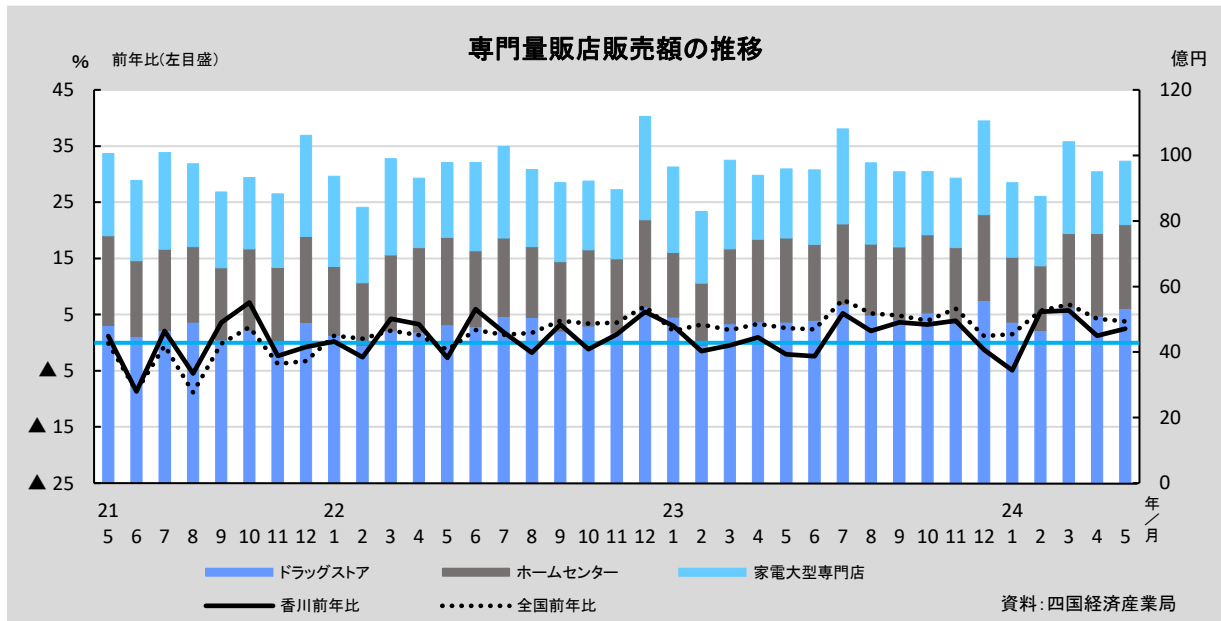
3 カ月連続減少 ↓



5月のコンビニエンスストア全店(401店)の販売額は66.3億円で、前年同月比▲0.2%となり、3カ月連続で減少した。

●専門量販店販売額

4 カ月連続増加 ↑

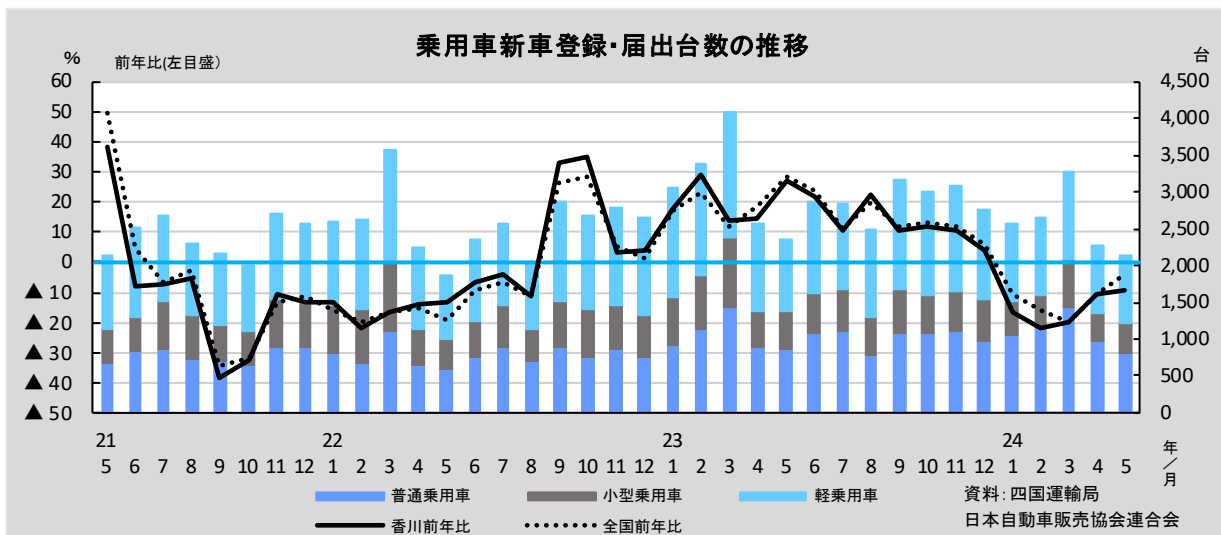


5月の専門量販店全店（220店）の販売額98.2億円で、前年同月比+2.5%と4カ月連続で増加した。

業態別にみると、**家電大型専門店**（28店）の販売額は、19.3億円で前年同月比▲8.2%となった。**ドラッグストア**（145店）の販売額は、53.3億円で同+8.6%となった。**ホームセンター**（47店）の販売額は、25.6億円で同▲0.4%となった。

●乗用車新車販売台数

5 カ月連続減少 ↓



5月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は2,141台で、前年同月比▲9.3%と5カ月連続で減少した。認証不正問題の影響は緩和しつつあるが、リコールによる受注停止や出荷遅延、新たな認証不正問題が拡大し、普通乗用車・小型乗用車が伸び悩んだ。

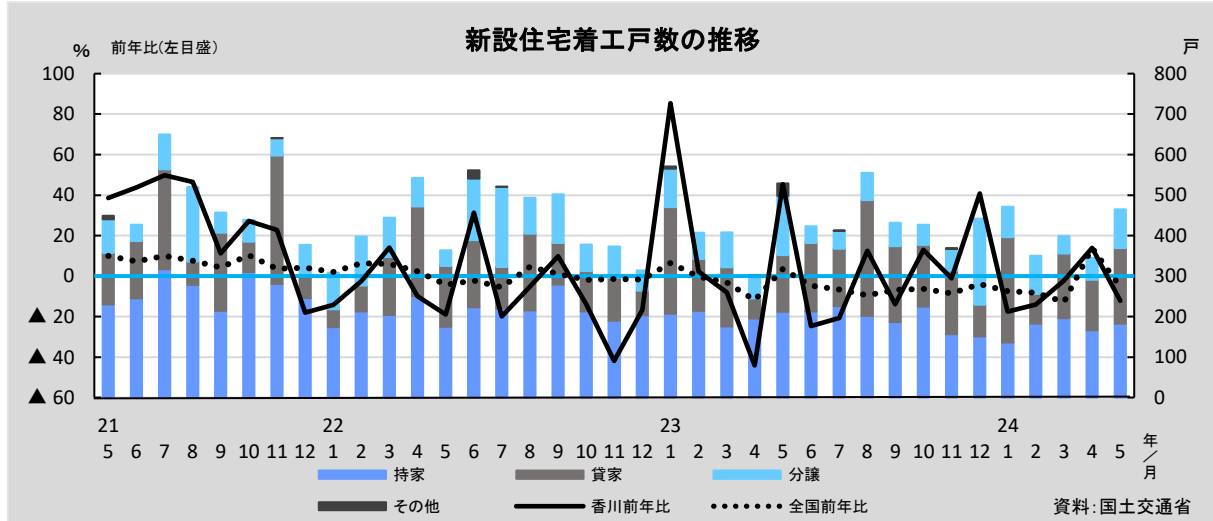
車種別にみると、普通乗用車は前年同月比▲7.8%、小型乗用車は同▲18.6%、軽乗用車は同▲5.8%となった。

住宅投資

低調に推移している

●新設住宅着工

2カ月ぶり減少 ↓



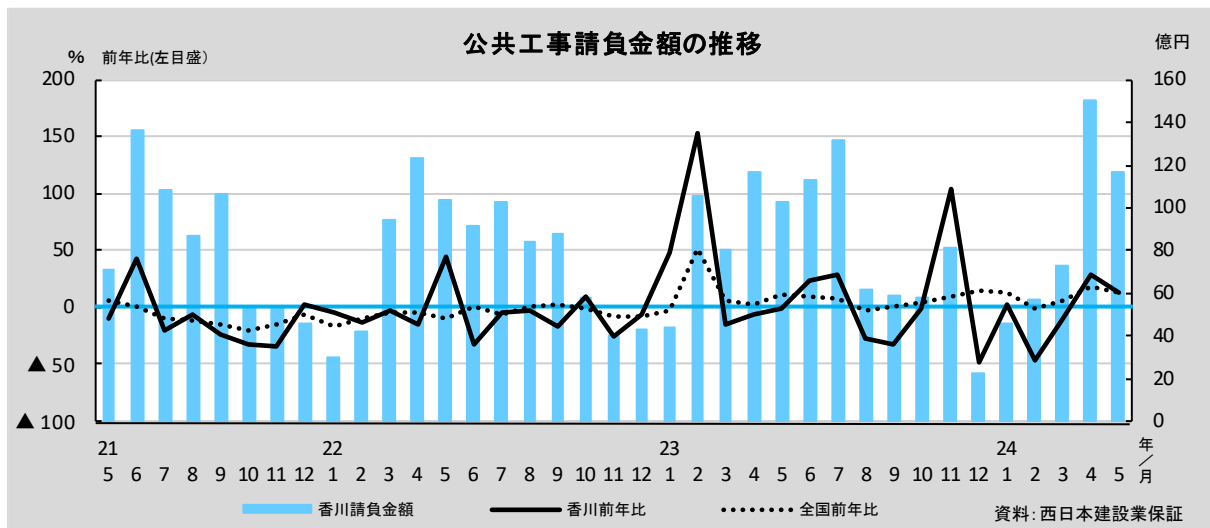
5月の新設住宅着工戸数は465戸で、前年同月比▲12.1%と2カ月ぶりに減少した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比▲13.7%、**貸家**で同+32.9%、**分譲住宅**で同▲34.2%となった。

公共投資

持ち直しの動きがみられる

●公共工事請負金額

2カ月連続増加 ↑



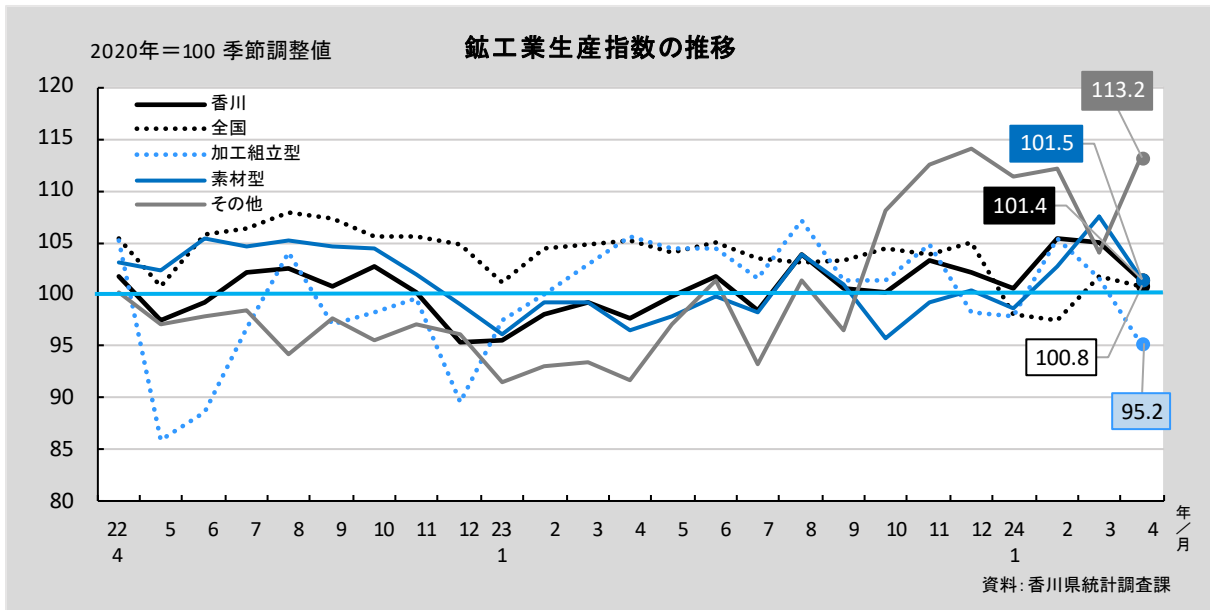
5月の公共工事請負金額は116.9億円で、前年同月比+13.4%と2カ月連続で増加した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比▲1.6%、**県**で同▲12.5%、**市町**で同+73.2%となった。

生産活動

横ばい圏内の動きとなっている

● 鉱工業生産指数

2 カ月連続低下 ↓



4月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は101.4（前月105.0）となり、2カ月連続で低下した。

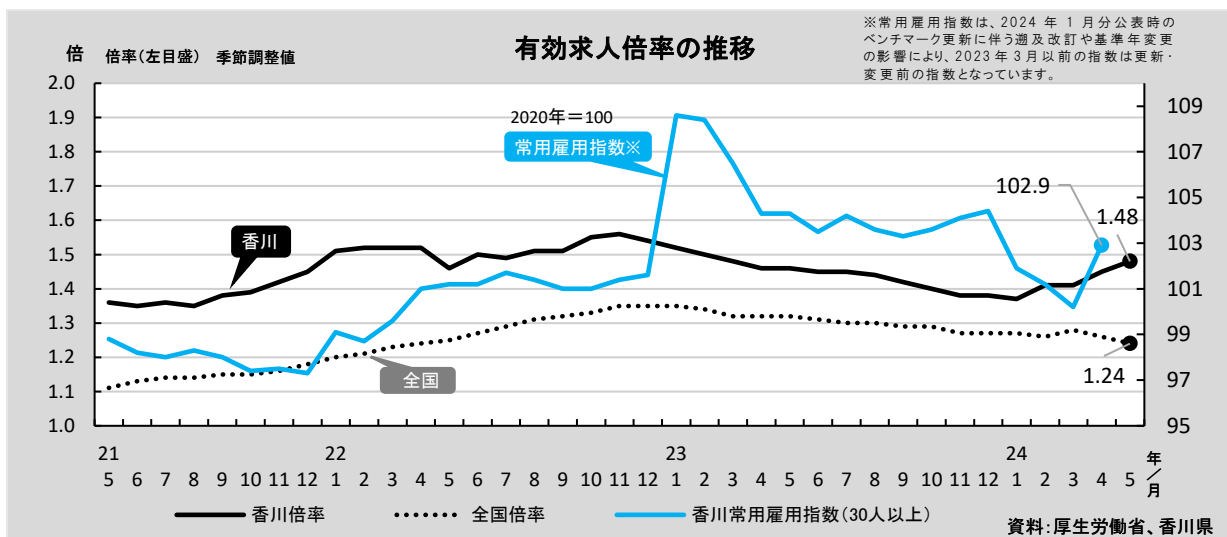
業種別では、素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品など）は前月比▲8.0%、金属製品工業（鋼管など）は同▲9.0%と低下した。一方、その他業種のその他工業（団扇など）は同+29.7%と上昇した。

雇用情勢

緩やかに持ち直している

● 有効求人倍率

2 カ月連続増加 ↑



5月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.48倍（全国4位）で前月より0.03ポイント上昇した。

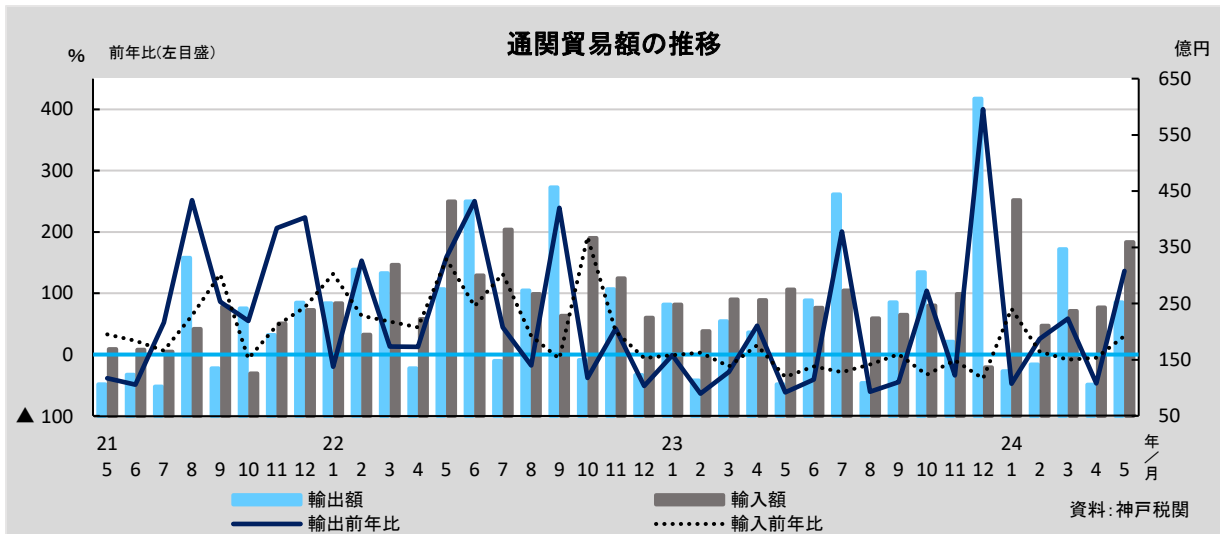
新規求人（原数値：前年同月比）は、サービス業（他に分類されないもの）、医療・福祉、卸売業・小売業等で増加となり、全体で+7.8%と2カ月連続で増加した。

4月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、102.9となり、前年同月比は4カ月連続で減少した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	1.91
事務的職業	0.56
販売の職業	2.48
サービスの職業	3.17
生産工程の職業	2.36
輸送・機械運転の職業	2.14
建設・採掘の職業	6.33
運搬・清掃・包装等の職業	1.07

貿易

輸出、輸入ともに増加している



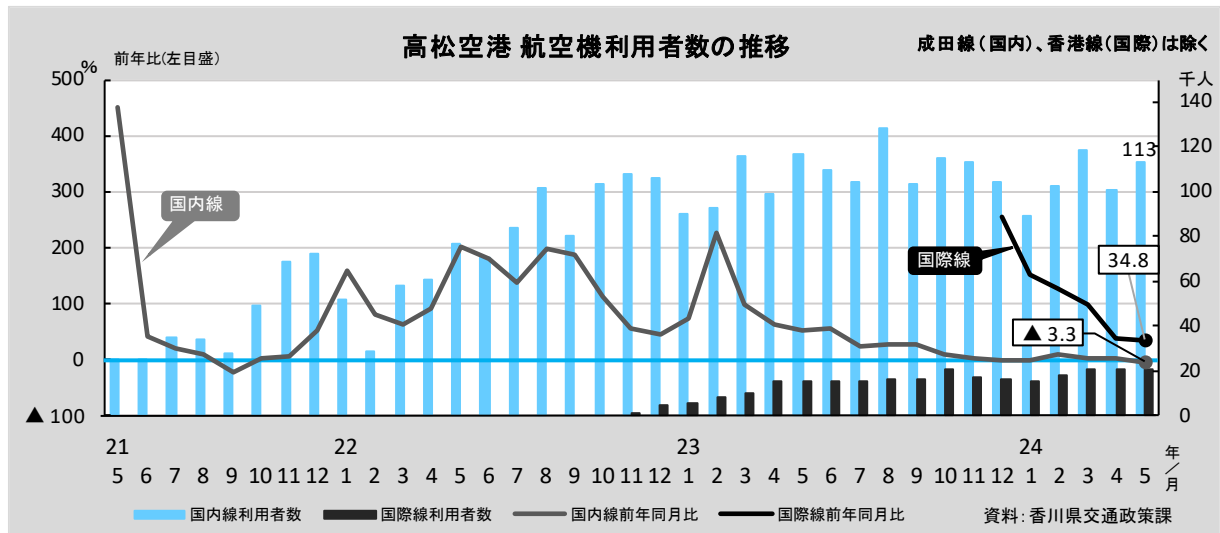
5月の輸出額は前年同月比+136.7%の251.9億円、輸入額は同+30.6%の359.4億円となり、差し引き107.5億円の入超となっている。

輸出は、前年同月ゼロだった貨物船輸出額が150億円となった。輸入は、液化石油ガス輸入額が前年同月比4.1倍の47億円となった。

交通

国内線は4カ月ぶり減少、国際線は7カ月連続増加

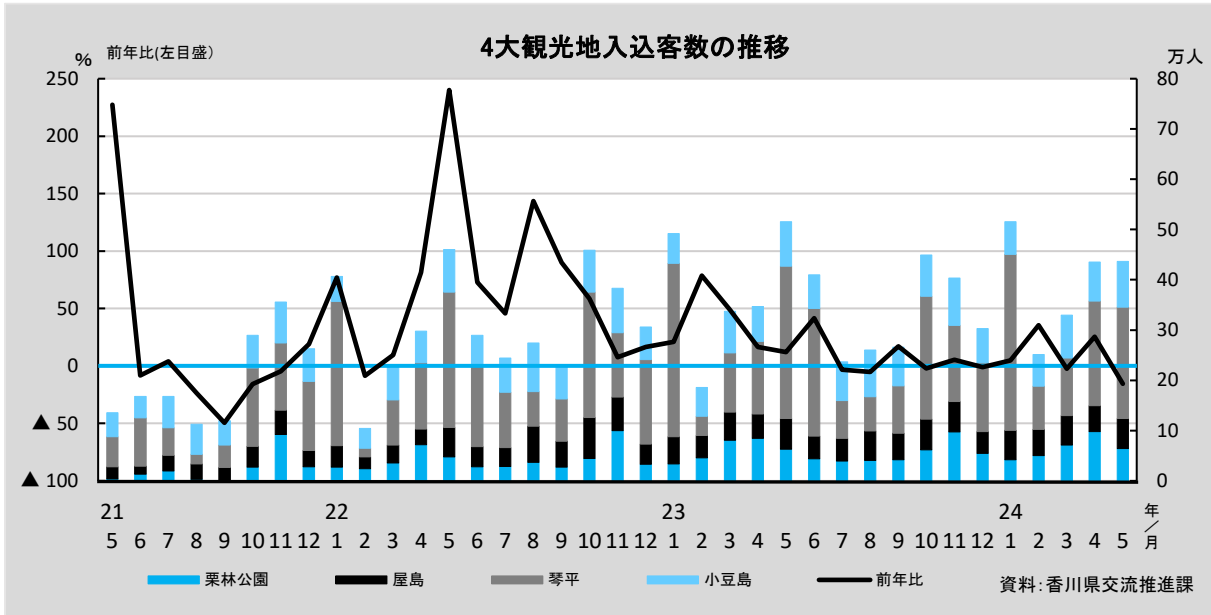
●高松空港旅客輸送実績



5月の航空機利用者数は、国内線（羽田・那覇線）が113,071人（前年同月比▲3.3%）となり、4カ月ぶりに減少した。羽田線は98,744人（同▲7.1%）、那覇線は14,327人（同+33.6%）となった。

国際線は、ソウル線10,618人、上海線4,272人、台北線5,503人で合計20,393人（前年同月比+34.8%）と7カ月連続で増加している。

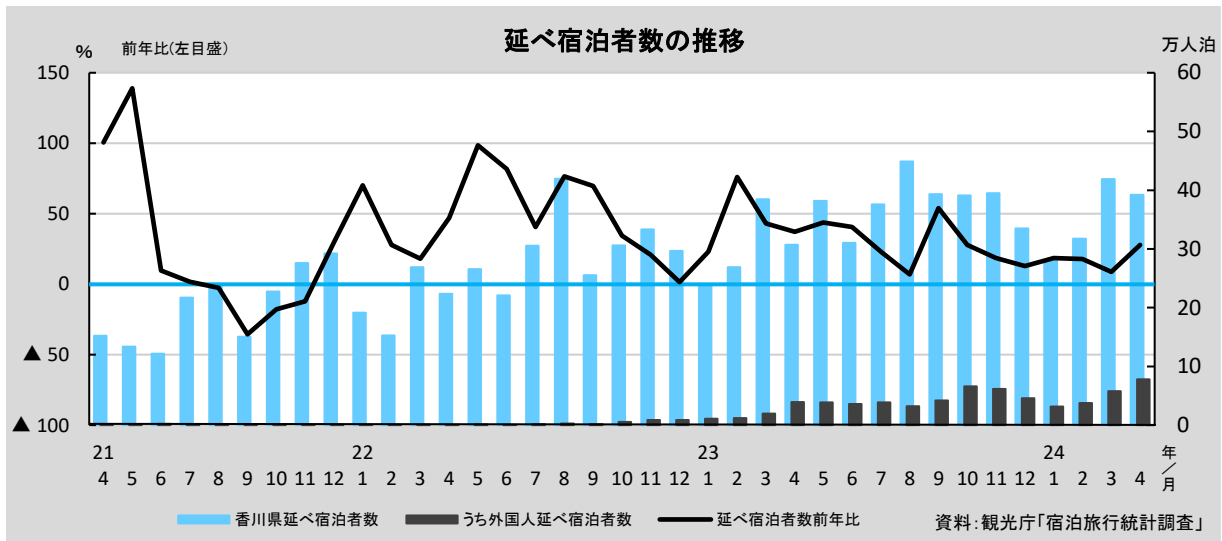
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園		屋島		琴平		小豆島		合計	
5月(人)	前年同月比	64,072	1.8%	59,679	▲2.3%	222,000	▲26.7%	90,572	2.1%	436,323	▲15.4%
1~5月累計(人)		325,404	5.7%	280,463	6.3%	981,000	3.5%	381,068	6.4%	1,967,935	4.8%

5月の主要観光地の入込客数は、前年同月比▲15.4%と2カ月ぶりに減少した。栗林公園は前年同月比+1.8%、小豆島は同+2.1%と増加したものの、屋島は同▲2.3%、琴平は同▲26.7%と減少した。1~5月の累計では前年同期比+4.8%となった。

●延べ宿泊者数



4月の延べ宿泊者数は392,000人で、前年同月比+27.7%と29カ月連続で増加した。うち、外国人延べ宿泊者数78,000人となり、前年同月比+97.8%と21カ月連続で増加した。